

# 施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

施策体系	政策	1	支え合い 健康でいきいきと暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	3	地域福祉の充実		
	施策	3	子ども・子育て支援		

## 1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対して、保健・医療・福祉の関係機関や地域づくり組織等の多様な主体との連携を強化し、切れ目のない相談、支援を行います。
- ばりっ子すくすく計画に基づき、待機児童の解消に努めるとともに、多様な保育ニーズに対応できるサービスを提供します。
- 社会全体で子どもの育ちと子育てを支えることにより、全ての子どもが健やかに育ち、安心して子育てができる環境をつくります。

## 2. 令和2年度の実績内容及びその成果



- ・市内15地域のまちの保健室の職員をチャイルドパートナーとして位置づけ、妊娠期から子育て期の母子に関わる相談を受ける体制を整えており、令和2年度は、1,081件(面談678件、電話390件、訪問13件)の相談、支援を行うとともに、専門的な相談には、保健師や助産師が対応に努めました。また、生後2か月のこんにちは赤ちゃん訪問は主任児童委員が、地域の子育て広場は民生委員が中心になるなど、多様な主体の参画による子育て支援に取り組みました。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら、母子保健事業、子育て支援に取り組みました。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が心配される中、妊産婦が安心して出産や子育てをできるように。また子育て家庭の経済的な負担を軽減し、子どもの健やかな成長を支援するため、赤ちゃん応援特別給付金事業を実施しました。
- ・新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を抑制し、医療提供体制への負担軽減や、乳幼児インフルエンザ罹患により、保護者が看護等のために就労が困難となるなどの影響を軽減させることを目的に、乳幼児インフルエンザ予防接種無料化事業に取り組みました。
- ・子どもの発達に係る相談に関して、保護者からの相談1,060件(年間相談件数)に対応しました。平成24年度の子ども発達支援センターの開設以来、初めて1,000件を超えるところとなりました。昨年度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にあたり、5月6日まで市内小中学校が休業となりましたが、休業明けの6月には令和元年6月の件数よりも約1.6倍の92件となりました。相談の主訴としては「子どもへの対応の仕方」や「学校生活での心配」が4、5月よりも増加しました。
- ・保育所の待機児童については、これまで受入枠の拡大に努めてきたことや、出生数も減少傾向にあることなどから、令和2年4月1日時点ではゼロとなりました。
- ・延長保育・休日保育・病児病後児保育など多様な保育ニーズに対応するとともに、マイ保育ステーション等の子育て支援事業に引き続き取り組みました。
- ・幼児教育・保育の無償化に係る事務の円滑な実施に努めるとともに、名張市子ども3人目プロジェクトによる多子世帯への支援を行いました。
- ・外国にルーツを持つ家庭の増加に対応するべく、保育所等の利用に係る英語版のサポートブックの作成に取り組みました。
- ・名張市子ども条例に基づく「ばりっ子すくすく計画」の取組として、連携協定を結んでいる皇學館大学及び名張市キッズサポータークラブの大学生や高校生などの協力のもと、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、ばりっ子会議を開催し市政への提言につなげることができました。また、令和2年度は名張地区まちづくり協議会と協働し、高校生が中心となって開催した名張学園祭において、ばりっ子モールを開催しました。
- ・放課後児童クラブの運営及び施設整備については、地域ごとに状況を精査しながら施設の拡充を図っており、令和2年度は蔵持小学校区放課後児童クラブの施設を拡充しました。
- ・児童虐待防止の取組として、名張市要保護児童対策及びDV対策地域協議会において、要保護児童の早期発見及び適切な保護を図るため、代表者会議、事務担当者会議、ケース検討会議を開催し、関係機関との連携強化による情報共有、役割分担、援助方法など迅速な支援体制づくりに取り組みました。

## 3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
市内の保育施設や子育てサービス、相談窓口等の子育て支援施策に満足しているとした市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	65.0	
	成果	57.3	61.8	62.2	68.6			100.0%
子育てサポーター養成者数【延べ数】(人)	目標	-	-	-	-	-	5,000	
	成果	664	1,870	2,610	3,170			57.8%

#### 4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・「市内の保育施設や子育てサービス、相談窓口等の子育て支援施策に満足しているとした市民の割合」が前回より6.4ポイント上昇しています。幼児教育・保育の無償化による効果が大きいと思われませんが、引き続き、子育て世帯への支援を充実させていくことが重要です。
- ・核家族化や子育ての孤立化が進む中、妊娠届出時における保健師による状況把握から、生後2週間目の助産師による電話相談、その後のこにちは赤ちゃん訪問や乳幼児健診、地域の子育て広場など、今後も新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、関係機関による途切れない支援が重要となっています。
- ・少子化により子どもの数が減少傾向にあるものの、子どもの発達に関する相談件数は年々増加しています。早期発見・早期対応の取組が進む中、ライフステージの移行とともに、その場面、場面ごとの子どもの困り感や保護者の不安などに対しての様々な支援が必要です。また、相談及び支援対応における専門性の継続に努めることが重要です。
- ・保育所の増改築や私立幼稚園の認定こども園化、地域型保育事業所の増加等により受入枠の拡大が進んできましたが、一方で、保育士の確保が困難な状況が発生しています。保育士・幼稚園教諭就職フェアのほか、令和2年度には潜在保育士の復帰をバックアップするための研修の開催も計画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ともに中止となりました。引き続き人材確保に努める必要があります。
- ・令和元年10月にスタートした幼児教育・保育の無償化により、保育料の面での私立幼稚園との差がなくなったことも影響し、公立幼稚園の入園希望者が大幅に減少しています。このため、公立幼稚園の今後のあり方について、早急に方針を定める必要があります。
- ・ぱりっすくすく計画は令和2年度に見直し予定でしたが、計画見直しのための基礎資料となる「子どもの権利に関するアンケート」が、新型コロナウイルス感染症拡大による長期の学校休業のため実施困難となり、令和3年度に計画を見直すこととなりました。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図った上でのアンケート実施が必要となります。
- ・少子化により児童数が減少していく中で放課後児童クラブの利用を希望する児童が増えている現状を鑑み、学校の空き教室や公共施設の空きスペースの利用などにより、クラブの適切な保護指導が継続できるよう検討していく必要があります。
- ・児童虐待の通告について、虐待かどうかの判断がつかない場合や保護者との関係性などの理由で通告をためらうケースが散見されるため、児童虐待を発見しやすい立場にある、学校や保育園、幼稚園、認定こども園などに、通告の必要性についての研修を引き続き実施していく必要があります。

#### 5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容（令和3年度以降）



- ・国のこども庁創設の動向等を踏まえ、子ども・子育て支援の推進体制整備を進めます。
- ・名張版ネウボラの推進により、多機関・多職種によるネットワークが構築されていますが、それぞれの相談・支援の情報を一元的に管理・運用することにより、より切れ目のない継続的な支援を図ります。
- ・社会全体で子どもの育ちと子育てを支えることにより、全ての子どもが健やかに育ち、安心して子育てができる環境をつくりまします。
- ・保育士・幼稚園教諭就職フェアや、潜在保育士に対する研修実施により、保育士確保に努めます。
- ・公立幼稚園の今後のあり方についての方針を早急に定めます。
- ・計画見直しの基礎資料となる「子どもの権利に関するアンケート」を実施するとともに、ぱりっすくすく計画（第5次）の策定を進めます。
- ・放課後児童クラブの運営及び施設整備については、地域ごとに状況を精査しながら施設の拡充を図り、放課後児童クラブの利用を希望する全ての児童の受入れに取り組みます。
- ・児童虐待を防止するために、速やかな通告による早期発見と早期対応が必要です。このため、関係機関はもとよりすべての住民が児童虐待に関する高い意識を持つことができるよう啓発や研修の実施に取り組みます。また、児童虐待を始めとした児童に関する支援を一体的に担う子ども家庭総合支援拠点について、令和4年度整備に向けて検討を行っていきます。

施策を構成する主な事務事業

\*事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています(施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます)。

\*R2決算見込は、R1からの繰越額も含みます。

\*R3予算は、R3.4.1時点での金額を記載しています。(R2からの繰越額含む。)

\*R3予算のみ金額が記載されている事務事業は、R3の事業内容を記載しています。

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	母子家庭等小口貸付事業	福祉子ども部	子ども家庭室	名張市母子寡婦福祉会に原資を貸し付け、緊急に生活資金が必要となった母子家庭に対し団体より貸付(1件につき限度額10万円)を行いました。 (令和2年度実績) ・資金の貸付 2件	1,000	1,000	1,000	1,000
一般	ひとり親家庭学習支援ボランティア事業	福祉子ども部	子ども家庭室	ひとり親家庭の児童を対象にした学習支援ボランティア(有償)による学習支援のほか、生活上の支援を実施しました。 (令和2年度実績) ・学習支援ボランティア等による学習支援及び生活支援の実施 ・実施期間 令和2年6月から令和3年3月(全82回) ・利用児童 市内ひとり親家庭の小学生、中学生、高校生(計12人) ・ボランティア登録者数 13人	2,743	684	3,000	740
一般	個別乳幼児特別支援事業	福祉子ども部	子ども発達支援センター	就学前の発達障害のある乳幼児の個別支援を行い、就学後の支援に引き継ぐ個別乳幼児特別支援事業を実施しました。 (令和2年度実績) ・運営委員会(書面表決:2回)、作業部会(6回)、ミニ作業部会(32回)の開催 ・保育士・教員・各関係機関対象研修(6回;うち1回は書面配付) 保幼小中コーディネーター研修会(1回) ・専門的な個別支援に関わる児童発達支援センターどれみとの連携 ・希望面談(小6、中3)の実施	2,620	1,520	2,688	1,605
一般	小規模型地域子育て支援センター事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	子育て家庭等に対する育児不安等についての相談や指導、子育てサークルへの支援を行いました。特に保健相談に重点をおいた事業として市内の小児科医院に委託して実施しました。 (令和2年度実績) ・保育士、看護師による電話及び面談による相談の実施 ・保育士による育児相談 週6回(電話48件、面接110件) ・看護師による保健相談 週6回(電話240件、面接192件) ・子育て支援に係る教室・講演会の開催 わかば教室タッチケア 25回 ・子育てサークル・ボランティア等に対する活動場所の提供・支援の実施 育成園職員を対象に 3回 ・こども支援センター等との連携、協力体制強化 地域連絡協議会月1回実施	3,570	1,190	3,570	1,190
一般	マイ保育ステーション事業	福祉子ども部	保育幼稚園室	地域の身近な子育て支援の拠点として、地域の公立保育所や民間保育園・認定こども園にマイ保育ステーションを設置し、妊婦や未就園児を持つ家庭を対象に、保育無料体験や育児相談、子育て講座、ひろば事業等の子育て支援を行い、育児の孤立や育児不安の解消を図りました。 (令和2年度実績) ・赤目保育所(公立)、昭和保育園(民間委託)、みはた虹の丘こども園(民間委託)で実施 ・家庭支援事業(育児体験・育児講座)、保育無料体験事業(半日・年度内1回)、ひろば事業、育児相談事業等を実施 ・年間利用親子数:赤目862組、昭和777組、みはた1,131組	8,445	2,845	8,457	2,857
一般	放課後児童健全育成事業	福祉子ども部	子ども家庭室	保護者の就労等により、昼間、自宅に保護者のいない留守家庭児童を対象にその健全な育成を図るため、校区ごとの地域で組織された運営委員会に放課後児童クラブの運営を委託しました。 (令和2年度実績) ・放課後児童クラブの運営管理 クラブ数 22クラブ	95,850	16,248	82,592	27,624

施策を構成する主な事務事業

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	要保護児童・DV対策事業	福祉子ども部	子ども家庭室	要保護児童対策及びDV対策地域協議会を運営しました。(代表者会議、事務担当者会議、ケース検討会議、研修会、啓発活動等) (令和2年度実績) 代表者会議：1回 事務担当者会議：4回 ケース検討会議：28回 ・相談業務等	1,575	45	310	230
一般	母子委託健康診査事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	妊娠・出産に係る経済的不安を軽減し、安心・安全な妊娠・出産に向け、妊婦健診14回、妊婦歯科健診1回を無料で健診できるよう支援するとともに、産後うつ予防や産後すぐの母子に対する支援の強化及び経済的負担の軽減を図りました。また、子どもの発育・発達の評価及び疾病の早期発見・早期対応と親の不安解消を図るため、4か月・10か月児の個別健診を医療機関で実施しました。 (令和2年度実績) ・妊婦一般健康診査 延べ5,214人(県外も含む) ・県外妊婦健康診査補助金 2,310,230円 ・妊婦歯科健診 158人 ・4か月健診 430人 ・10か月健診 441人 ・産婦健診 延べ738人(委託外実施機関も含む) ・委託外産婦健診補助金 545,720円	55,727	52,112	59,146	56,846
一般	名張版ネウボラ事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	まちの保健室や地域子育て支援拠点等に看護師等資格者をチャイルドパートナーとして配置し、母子保健コーディネーター(保健師・スーパーバイザーとしての助産師)とともに妊産婦に対して、きめ細かい相談、支援を行いました。また、産後ケア体制を整備し、地域の子育て支援の充実を図りました。 (令和2年度実績) ・妊産婦に対する相談、支援の実施 ・産前産後のケア体制の整備	13,351	2,575	4,356	1,772
一般	乳幼児インフルエンザ予防接種無料化事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	・インフルエンザ罹患により、保護者が看護のために就労困難となるなどの影響を軽減するため、またインフルエンザ発症や重症化を予防することで、新型コロナウイルス感染症との同時流行を抑制し、医療提供体制への負荷を軽減させるため、R2年度は自己負担を無料化にしました。 (令和2年度実績) 対象件数 4,575件	17,966	0	0	0
一般	児童入所施設措置費	福祉子ども部	子ども家庭室	児童福祉法に基づく児童入所施設への入所措置を行いました。 (令和2年度実績) ・母子生活支援施設委託措置：2世帯 ・助産施設委託措置：1世帯	12,696	3,899	11,476	2,869
一般	子ども医療助成事業	市民部	保険年金室	0から15歳までの子どもに係る、通院・入院の保険診療自己負担相当額を助成しました。 (令和2年度実績) ・子どもの自己負担医療費助成 県補助対象分64,566件、市上乗せ負担分9,541件 ・証明手数料(41,832件) ※令和2年度は、補助金申請期間の変更により11か月分	152,615	74,537	212,103	117,498
一般	一人親家庭等医療助成事業	市民部	保険年金室	18歳以下(18歳に達した年度末まで)を扶養している一人親家庭の母、又は父、及びその児童や父母のいない18歳以下(18歳に達した年度末まで)の保険診療の自己負担相当額の助成を行いました。 (令和2年度実績) ・一人親家庭等の自己負担医療費助成 13,345件 ・証明手数料 12,245件 ※令和2年度は、補助金申請期間の変更により11か月分	36,003	18,017	43,815	21,908
一般	児童扶養手当給付事業	福祉子ども部	子ども家庭室	児童扶養手当法に基づき、父母の離婚により父親又は母親と生計を同じくしていない児童を養育している家庭等に対し、給付金を支給しました。  受給者数：557人 (令和3年3月末時点)	290,341	193,793	295,727	197,581

施策を構成する主な事務事業

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	病児・病後児保育事業	福祉子ども部	保育幼稚園室	市内の医療法人に委託し、保護者の勤務等の都合により家庭で保育を行うことが困難な病児・病後児を専用スペースで一時的に保育することで、就労支援を行いました。 (令和2年度実績) ・病児・病後児保育事業委託(年間利用実績 延べ143人)	9,045	3,149	9,054	2,996
一般	児童手当給付費	福祉子ども部	子ども家庭室	児童手当法に基づき、中学校修了前の児童を養育している者に対し児童手当の給付を行いました。 (令和2年度実績) ・児童手当法に基づく児童手当及び特例給付を支給計104,785人	1,146,885	175,033	1,138,120	174,437
一般	保育所費	福祉子ども部	保育幼稚園室	公立保育所の管理運営を行いました。また、老朽化した施設・設備の修繕や保育室の改修を行うなど、保育環境の改善を図りました。	61,008	41,907	61,112	51,032
一般	民間保育所措置費	福祉子ども部	保育幼稚園室	民間保育所・認定こども園に対し、運営に要する経費として、国庫負担金交付基準に示される運営費及び特別保育などの市基準に基づく運営費を支給しました。 (令和2年度実績) ・民間保育所等14園、R3.3.1利用児童数1,766人	1,725,149	636,700	1,745,500	585,403
一般	子育てのための施設等利用給付事業	福祉子ども部	保育幼稚園室	無償化の対象者に対し、認定こども園等の預かり保育料、一時預かり事業、ファミサポ、認可外保育施設等の利用料に係る給付を行いました。 (令和2年度実績) 補助対象件数 138件(最終支払時点)	9,966	2,491	13,000	3,250
一般	家庭的保育事業	福祉子ども部	保育幼稚園室	保育士の居宅等において少人数の乳幼児の保育を行う家庭的保育事業に対し、運営費等の支給を行いました。 (令和2年度実績) ・家庭的保育室 3室 ・家庭的保育者 3人 ・家庭的補助者 3人 ・家庭的保育支援者 1人 ・委託児童数 15人	24,798	16,415	25,405	3,023
一般	小規模保育事業	福祉子ども部	保育幼稚園室	小規模保育実施事業者に対し、運営費等を支給しました。 (令和2年度実績) ・小規模保育事業所 5か所、R3.3.1利用児童数74人	197,733	61,201	202,808	69,642
一般	事業所内保育事業	福祉子ども部	保育幼稚園室	事業所の施設等で従業員の児童を保育するとともに、地域枠を設け、従業員以外の児童の保育を実施する企業等に対して運営費等を支給しました。 (令和2年度実績) ・事業所内保育事業所 2か所、R3.3.1利用児童数56人	112,378	42,912	114,000	40,304
一般	未熟児等援護費	福祉子ども部	健康・子育て支援室	出生時の体重が2,000g以下又は身体の発育が未熟のまま出生した子どもで、指定医療機関へ入院し、養育を行う必要のある子どもに対して医療の給付を行いました。 (令和2年度実績) ・入院を必要とする未熟児への医療給付(申請件数 14件) 給付金額 2,372,712円、自己負担金 470,356円	2,374	125	2,003	425
一般	子育てのための施設等利用給付事業(未移行幼稚園分)	福祉子ども部	保育幼稚園室	子ども子育て支援新制度未移行幼稚園の利用者に対し、無償化に伴う保育料及び預かり保育料に係る給付を行いました。 (令和2年度実績) 補助対象件数(最終支払時点) ・保育料 桔梗が丘幼稚園264人、市外未移行幼稚園2人 ・預かり保育料 98件	86,726	21,682	89,000	22,250
一般	母子家庭等対策費補助金(母子家庭等自立支援給付金事業)	福祉子ども部	子ども家庭室	母子家庭の自立を図るため、母親が就職に有利な資格・技能を取得するための支援を行いました。 (令和2年度実績) ・自立支援教育訓練給付金 0件 ・高等職業訓練促進給付金 9件 ・高等職業訓練修了支援給付金 6件	11,633	2,909	7,620	1,905

施策を構成する主な事務事業

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	赤ちゃん応援特別給付金給付事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	妊産婦が安心して出産や子育てができ、子どもの健やかな成長を支援するために、令和2年4月28日から令和2年12月31日の期間に出生し、出生後最初の住民登録を名張市にしている者に対し、1人当たり5万円の給付金を1回に限り支給しました。 受給者数：274件	13,807	0	0	0
一般	子育て世帯臨時特別給付金給付事業	福祉子ども部	子ども家庭室	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取り組みとして、児童手当を受給する世帯に対し、対象児童1人当たり1万円を給付しました。 (令和2年度実績) 給付件数5,684件 対象児童9,664人	102,385	0	0	0
一般	ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	福祉子ども部	子ども家庭室	新型コロナウイルス感染症の影響により、児童扶養手当基準額以下の収入見込となるひとり親世帯に対し、対象児童第1子に5万円、第2子以降1人あたり3万円を基本給付し、さらに新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した世帯に5万円を追加給付しました。また、基本給付した対象者に同額を再給付しました。 (令和2年度実績) 基本給付件数660件 対象児童1,012人 (再給付も同数) 追加支給件数481件	116,372	0	0	0
一般	子育て世帯支援事業	福祉子ども部	子ども家庭室	新型コロナウイルス感染症対策により、負担が増している子育て世帯の家計を支援することと併せて地域経済の活性化を図るため、18歳以下の子どもを養育している保護者に対し、子ども1人あたり5,000円分(500円券10枚)の市内で使用できる商品券を給付しました。 (令和2年度実績) 給付件数6,873件 対象児童11,930人 給付枚数119,300枚のうち、利用枚数118,108枚	62,607	0	62,874	0
一般	特定不妊治療費等補助事業	福祉子ども部	健康・子育て支援室	不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図るため、特定不妊治療に加え、不育症、第2子以降の特定不妊治療費助成、また、一般不妊治療費(健康保険対象外)の治療費の一部を助成しました。 (令和2年度実績) ・申請件数 27件	2,163	1,081	2,500	1,250
一般	子ども発達支援センター改修事業	福祉子ども部	子ども発達支援センター	療育事業をするにあたり、子どもに配慮した環境整備を行いました。 ・子どもセンター5階多目的交流コーナー空調設備取替工事 ・契約金額：1,155千円 子どもセンター5階遊戯室空調設備改修工事 ・療育事業を利用する子どもの身体調節機能を考慮して緊急で整備工事を行いました。 ・契約金額：996千円	2,152	52	0	0
一般	放課後児童健全育成事業所施設整備事業	福祉子ども部	子ども家庭室	利用児童が増加している放課後児童クラブの計画的な受入れのため施設整備を行いました。 (令和2年度実績) ・桔梗が丘東小学校区放課後児童クラブ改修工事 ・蔵持小学校区放課後児童クラブ改修工事	19,713	29	46,111	345
一般	民間保育所等施設整備補助金	福祉子ども部	保育幼稚園室	民間保育所の施設整備に対して支援を行いました。 (令和2年度実績) ・名張西保育園空調修理 ・昭和保育園給食室空調取替 ・桔梗が丘保育園トイレ改修	1,349	49	0	0
一般	保育所改修事業	福祉子ども部	保育幼稚園室	新型コロナウイルス感染症対策として、公立保育所4園に冬場の手洗いのための給湯設備を設置しました。	1,192	0	2,562	0